

# 平成29年度シラバス

学番 40 新潟県立栃尾高等学校

教科名	家庭科	科目名	家庭総合	単位数	2 (4単位中)
科目の性質	必修		学年(学級)	1 学年	
使用教科書	「新家庭総合 ともに生きる 明日をつくる」(教育図書)				
副教材等	「新家庭総合 ともに生きる 明日をつくる ワークノート」(教育図書)				
	「生活ハンドブック 資料成分表」(第一学習社)				

## 1 学習目標

人の一生と家族、共生社会、衣生活や消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2 指導の重点

- ① 基本的な生活力を育成するため、身近な事例を題材としてとりあげる。
- ② 教材の有効活用、実習の導入等、生徒の興味・関心を引き出し意欲的な取り組みを目指す。
- ③ 自立した消費者としての行動を促し、態度を育てる。

## 3 指導計画

月	学習内容	学習のねらい	時間	評価方法
4 5	1 人の一生と家族	・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、社会とのつながりについて理解する。	1 2	・ 授業の取り組み ・ 授業プリント ・ 定期テスト
6 7	2 高齢者	・高齢期についての正しい知識を身につけ、社会の一員として高齢者を支えるしくみや介護について考えることができる。	1 2	・ 実習の取り組み ・ 実習プリント ・ 課題提出
8	3 共生社会	・年齢や性別、人種、障がいの有無などに関わりなく、安心して充実した生活を送ることができる社会について考えを深めることができる。	8	
9 10 11	4 衣生活	・衣服の機能や着装、管理について科学的に理解し、主体的な衣生活を営める力を育てる。	1 5	
12 1	5 消費生活	・家計と経済社会とのかかわりや、生涯を見通した家計管理について理解し、適切な意思決定に基づいた消費行動力を育てる。	1 5	
2	6 環境	・環境問題には消費者一人ひとりの意識が大切であることを学び、資源や環境に配慮した生活を目指す。	8	

## 4 課題・提出物等

- ・ 副教材のワークノートの提出。
- ・ 被服製作の提出。

## 5 評価規準と評価方法

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人の一生と家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族のあり方に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・青年期の課題について興味を持ち、自己解決に活かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の問題点を踏まえ、自分の将来と家族との関わりについて思考を深めている。</li> <li>・ライフコースの作成を通して、自分の将来像を表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の働きを考え、よりよい家庭生活を送るためにすべきことを実践することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生を見通した上で、今実践すべき事を理解する。</li> <li>・家族に関する法律を理解し、知識を深める。</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期はどのような時期なのかを知り、高齢者との交流に関心を持ち、将来の高齢期像を描こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会の課題を考え、社会の一員として何ができるかを考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期の心身の特徴を知り、実生活に活かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期についての正しい知識を身につける。</li> <li>・高齢期の生活を支えるしくみや介護の目的と方法を知る。</li> </ul>
共生社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会やボランティア活動について、興味・関心を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人と集団がつながり、支え合うことで私たちのくらしが成り立っていることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の立場を思いやる気持ちを持つことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザインなどの意味を知り、理解する。</li> </ul>
衣生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の製作・購入、着年から管理、廃棄まで衣生活全体の流れに関心を持つ。</li> <li>・製作実習に意欲的に取り組む態度が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の機能を踏まえて衣服計画を立てることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の選択や手入れに関心を持ち、実生活に活用しようとする。</li> <li>・製作実習で作品を完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服材料の特徴を理解できる。</li> <li>・衣服の選択と手入れの方法を知り、具体的に理解をしている。</li> </ul>
消費生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭経済と社会との関わりに関心を持つ。</li> <li>・消費者問題に関心を持ち、生活に役立てようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者として、何をどのように選ぶかとその流れについて思考を深める。</li> <li>・消費者の権利と責任を明確に判断する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金の動きを家計から知り、生活に役立てる。</li> <li>・消費者の自立に必要なことがらを理解し、行動に移すことができる。</li> <li>・クーリング・オフのやり方が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計は計画的な管理が必要な事を知る。</li> <li>・消費生活は契約で成り立つことを知り、消費者の現状と課題について理解を深める。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題に関心を持ち、自分自身の問題として解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会、循環型社会に関して思考を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全について、今自分ができることについて取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ化、地球温暖化、3Rなどの知識を深めることができる。</li> </ul>

### 評価の観点・方法

- ① 授業態度：出席状況及び学習状況
  - ② 定期考査
  - ③ 提出物：実験実習プリント、授業プリント
- \* これらの内容を総合して、学年末に評価します。評価は100点。

## 6 担当者からの一言

家庭総合では、よりよい生活を送るための知識を身につけ、自立するための準備として2年間かけて学んでいきます。

1年次では人の一生と家族について、高齢者と福祉、衣生活、消費生活、環境問題について学習し、毎日の生活や将来の実生活に生かすことができる力を身につけていきましょう。